

## 海外安全対策情報（2019年7月～9月）

2019年10月  
在ハンブルク日本国総領事館

### 1 社会・治安情勢

- (1) 当館管轄州（ハンブルク州，ニーダーザクセン州，シュレスヴィッヒ・ホルシュタイン州，ブレーメン州）の治安情勢については，各州とも比較的良好に推移しているが，依然としてテロの潜在的な脅威は存在しており，2019年9月11日に治安当局は，テロ組織に資金供与した容疑でハンブルクやリュューベック等の北ドイツ16か所で一斉摘発を行い，ハンブルクで男性1名，リュューベック近郊で男性1名を逮捕しています。
- (2) 10月以降も「クリスマス・マーケット」や「移動遊園地」等の不特定多数の人が集まるイベントが予定されているため，引き続き，こうしたイベントの参加者を狙ったテロに注意する必要があります。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 空港，駅，電車，飲食店，ホテルロビー，メッセ会場等の不特定多数の人が集まる場所において，すりや置き等々の窃盗被害が多発しているため，所持品や貴重品の管理には十分注意する必要があります。
- (2) 夜道の一人歩きは路上強盗等の犯罪被害に遭うリスクが高まるため，注意する必要があります。
- (3) 日照時間が徐々に短くなる10月以降は，室内灯の点灯状況で留守宅の判別が容易となり，例年空き巣被害が増加するため，以下のとおり注意する必要があります。
  - ア 自宅を留守にする際は，ドアと窓の戸締まりを確実に行う。
  - イ 自宅を留守にする際は，留守宅であることを外部から悟られないように，室内灯やテレビをつけておく。
  - ウ 自宅を長期間留守にする際は，タイマーコンセントやスマート照明等を活用して日没前から就寝までの時間帯に合わせて室内灯を点灯させる。
  - エ 自宅を長期間留守にする際は，郵便受けに新聞や郵便物が貯まらないように隣人に回収を依頼する。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

邦人被害の事件は認知していません。

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件は認知していません。

### 5 対日感情

良好です。

### 6 日本企業の安全に関わる諸問題

注意を要する具体的な情報は認知していません。